

質の高い臨床教育・研究の確保事業  
取組の概要と推進委員会からの主なコメント

		整理番号	13
代表校名 (連携校名)	神戸大学		
事業名	ICTの包括的導入による業務最適化に時短女性医療者活用とシミュレーション教育の拡充を組み合わせた次世代の医学部教育・研究体制の確立		
事業責任者	医学部長・村上 卓道		
事業の概要			
<p>大学、大学附属病院は、教育、研究、診療という3つの重要な役割を担ってきたが、働き方改革による労働時間短縮の中で、教育の高度化や研究、診療の質、量の拡大が求められている。この相反する要求を高度に達成するには、近年急速に発達した ICT 技術を大胆に導入し、事務的作業を徹底的に効率化し、生じた人的、時間的余裕を人間しか行えない創造的な活動に投入する必要がある。ICT の導入原則は 1. 全領域を対象、2. 先進的企業の ICT 技術の活用、3. ICT 専門家と現場職員のチーム形成（集合知）、4. 初期からのチーム形成、5. 現場での課題探索で、抽出した課題の期待される効果、実行可能性、コストを厳密に評価し、優先順位を付け、課題ごとにプロジェクトを立ち上げて PDCA、OODA 等で社会実装率の向上を図る。現在、先進的 ICT 企業との共同研究に合意し、本事業の対象となる臨床実習および臨床研究の課題探索を開始している。</p>			
推進委員会からの主なコメント      ○：優れた点等、●：改善を要する点等			
<p>○ICT 技術の大胆な導入により事務的作業を徹底的に効率化し、生じた人的、時間的余裕を人間しか行えない創造的な活動に投入するというコンセプトは、質の高い臨床教育・研究の本事業の趣旨に合致したものである。</p> <p>○メタバース空間等を活用した臨床実習前シミュレーション教育の充実、AI を活用した患者問診教育の質向上およびチュートリアル FAQ システムの構築など、ICT の積極的な活用を計画している点が評価できる。</p> <p>○時短女性医師の教育担当専任教員としての採用は、同教員のニーズとマッチすれば非常に良い方策になると思われる。</p> <p>○AI 技術により臨床研究に特化した臨床研究文書作成システムを構築するとともに電子カルテとの連動による負担軽減を目的としており、その成果が期待される。</p> <p>○研究科長および病院長の指示のもと企業からの専門人材も含めた ICT による構造改革委員会を立ち上げることが計画されており、極めて実現性の高い事業計画と期待される。</p> <p>○システムの製品化やノウハウの無償提供を前提にしており、十分な普及が期待できる。</p> <p>●AI、特に生成系 AI の活用については、その教育効果が確立されていないため、事業実施においては慎重に対応する必要がある。</p> <p>●研究支援側の省力化にはつながると期待される一方で、研究を主導する医師側への支援に直結するかは不透明である。</p> <p>●AI による倫理審査委員会申請・研究計画書策定業務の省力化を計画しているが、より具体性のある事業計画の策定が望まれる。</p> <p>●事業によって効率化され余剰となった人材や必要を取組の継続に充てるとの計画だが、着実な実施のためには不確定要素がある。</p>			